

こどもクリニックニュース

NO. 227 平成30年12月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成31年1月まで)

12月	5日	(水)	内科健診	第4保育所 AM
			2才健診	加須・保健センター
	6日	(木)	検診	スピカ・レディースC
1月	9日	(水)	3・9ヶ月健診	大利根・保健センター
	10日	(木)	検診	スピカ・レディースC
	11日	(金)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
	16日	(水)	2才健診	加須・保健センター
	23日	(水)	1才半健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

小児科休日診療の当番

平成31年1月6日までの当番一覧です。

加須市では4月～10月は祝日に、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に小児科休日診療を行っています。

月	日	曜日	当番医
12月	2日	(日)	福島小児科医院
	9日	(日)	中田病院
	16日	(日)	ともながこどもC
	23日	(日)	中田病院
	24日	(月)	加藤こどもC
	30日	(日)	つのだ小児科医院
31日	(月)	つのだ小児科医院	

月	日	曜日	当番医
1月	1日	(火)	-
	2日	(水)	中田病院
	3日	(木)	福島小児科医院
	6日	(日)	中田病院

※診療時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。



休診の予定

年末・年始の休診予定
12月29日(土)～1月3日(木)

感染症の情報

11月は溶連菌感染症の患者さんが非常に多かったので、この傾向は今後も続く可能性があります。幼稚園から小学生くらいの年齢の子供たちがかかりやすく、主な症状はのどの痛みと発熱です。症状は無くても菌を保有している方も多いことが知られており、このような方が感染源となって流行が長引くことがあります。

当院の受診者の中では胃腸炎(嘔吐と発熱)の患者さんが増えてきました。家族や保育所などの集団生活で、短期間で流行が拡大することがあります。埼玉県全体ではRSウイルス感染症とリンゴ病(伝染性紅斑)の報告が多い状態が続いています。また様々なメディアで報道されているように風疹の報告数が多い状態が続いています。絶対数はそれほど多くないとはいえ、万一妊婦の方が感染すると、胎児に深刻な合併症を起こすことがあります。全員がワクチンを受けていれば絶滅できる病気ですので、早急な対応が求められます。

インフルエンザの報告数は少しずつ、でも確実に増えています。例年インフルエンザ流行のピークは2月頃ですので、ワクチン接種は年末までに完了することが理想的です。

関東地区を中心に風疹の報告数が多い状態が続いています。30代から50代の男性の報告数が多く、その世代で風疹に対する免疫のない方へのワクチン接種が強く勧められています。ただしその影響で、MRワクチンの不足が懸念されており、当院でもワクチン入荷に支障が出始めました。成人の任意接種も重要ですが、当院では小児の定期接種を最優先で実施します。

赤ちゃんの乾燥肌に、私のアドバイス

小児科医にとって、赤ちゃんのお肌のトラブルに関する相談は多いものです。ひどい皮膚病、長引いている皮膚病は皮膚科専門医受診をおすすめしていますが、とても軽い場合や日ごろのスキンケアで解消しそうな場合は、私なりのアドバイスや薬を処方することもあります。

毎年この時期に増えてくる、赤ちゃんの乾燥肌

お肌のカサカサが気になり、保湿用のクリームやローション、ワセリン等を使っている方へのアドバイス。

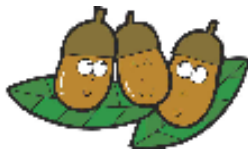
ほとんどの方が日ごろから、お肌を清潔にするために石鹸やシャンプーを使っているはずですが、まず、石鹸で洗うのをやめてみることをお勧めしています。石鹸やシャンプーは「脂分を落とす」道具ですから、一所懸命に石鹸で洗えば洗うほど、お肌の脂は少なくなり、お肌の乾燥はひどくなるはず。石鹸の中止には抵抗感のある方も多いため、1週間だけ止めてみて、お肌のトラブルが起これなければさらに続けてみませんか？

保湿剤は今まで通りに使って構いません。

※ワセリンの塗り方

私は「冬の保湿剤」としてワセリンを推奨していますが、塗った後にベトベトするのが嫌だという方が多いです。そんな方へのアドバイスは「ひと手間かけて下さい」。

必要な場所にまんべんなくワセリンを塗った後、タオルを使ってベタツキを拭き取ってください。皮膚のくぼみに残ったワセリンが、お肌をしっとり守ってくれます。



スギ花粉の免疫療法・始めるなら年内に！

スギ花粉の舌下免疫療法は、今年の夏から新しい剤型（錠剤）の薬の発売とともに、年齢の制限が無くなりました。それでもいくつかの制約があり、誰でも手軽に治療開始・・・とはいきませんが、治療の選択肢が増えたのは嬉しいことです。

ただし大事な決まりが一つ、それは「スギ花粉が飛散している時期ならびにその前後1か月間は、治療を開始してはならない」という項目です。関東地域でスギ花粉が飛散し始めるのは、（地域差やその年の天候による違いがありますが）、おおよそ2月初めころです。したがって1月になってしまったらこの免疫療法を始めることができず、6月頃まで待たなければなりません。

インフルエンザワクチン実施中（完全予約制）

接種回数（推奨）

13歳未満は（2～）4週間の間隔で2回

13歳以上は1回

接種料金

3,500円/回（成人・小児共通です）

13歳未満のお子様が2回接種する場合は、合計7,000円になります。



夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7（何でも）119番！

北川辺地域では 048-824-4199へ

小児の救急電話相談（#8000）、成人の救急電話相談（#7000）、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、こどもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

こどもの救急（日本小児科学会）

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomo-qq.jp/>



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



とまなが
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150